

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
TEL: 03-3259-3111(代表)
www.ms-ins.com

2022年10月24日

～海洋海底のサステナビリティ向上と経済圏拡大に対応～
「ブルーエコノミープロジェクト」始動

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、自然資本・生物多様性の保全や脱炭素化に伴う中長期的な社会変革を視野に入れ、「ブルーエコノミープロジェクト」を始動します。

残されたフロンティアの1つ「海洋海底」において、経済活動や脱炭素化、海洋生態系の保全の取り組みによって新たに生じるリスクを分析し、ブルーエコノミーの発展を支える保険商品・サービスの開発を、社内外の組織を横断した体制で推進します。

当社は、リスクソリューションのプラットフォーマーとして、サステナビリティ・トランスフォーメーション（SX：当社と社会のサステナビリティの同時実現）を推進し、海洋海底における社会課題の解決や関連産業の発展に貢献していきます。

1. 背景

ブルーエコノミーは海洋産業と海洋生態系を包含した経済圏の概念であり、世界第6位の領海と排他的経済水域（EEZ）を有する日本にとって、将来の経済成長に資する事業機会であると同時に、社会のサステナビリティの実現に向けて重要な領域です。

当社はサステナビリティに係る重点課題の1つとして、地球環境との共生（Planetary Health）を定め、自然資本の持続可能性向上と気候変動への対応に取り組んでいます。

近年、急速に進む脱炭素化や海洋権益を含む市場・法規制の整備、関連技術の高度化、お客さまの意識・行動の変化を踏まえ、自然資本・生物多様性の保全や脱炭素化の観点から、その発展に貢献すべく「ブルーエコノミープロジェクト」を始動しました。

2. 取組の概要

（1）新たな商品・サービス等の開発

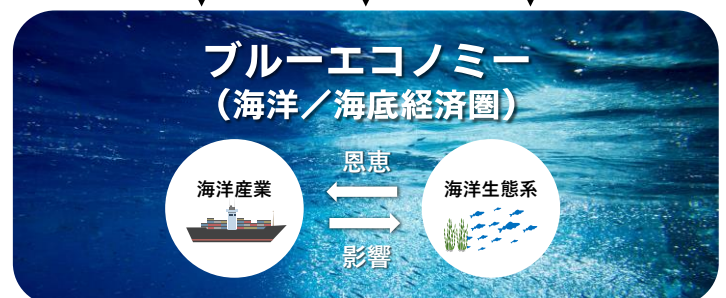
海洋生態系の保全等「自然資本のサステナビリティ向上」、海洋海底における再生可能エネルギーやネガティブエミッション技術等「気候変動・脱炭素化への対応」、海洋データやAI等を活用した「海洋・海底事業のDX化への対応」をテーマにした取り組みによって新たに生じるリスクを分析し、ブルーエコノミーの発展を支える保険商品・サービスを開発します。

（2）社内外横断の推進体制構築

船舶営業部海洋エネルギー室と企業営業推進部、公務開発部、営業推進部、ビジネスデザイン部を中心とした部門横断メンバーでプロジェクトチームを構成し、グループ会社であるMS&ADインターリスク総研や外部企業のPwCコンサルティング合同会社等との協業を行います。

<ブルーエコノミープロジェクト概要>

市場／法規制の変化 技術の変化 お客さまの変化



▲
**企業活動リスクや社会課題を分析し
 最適なリスクソリューションを提供**



企画・
実行支援

MS&AD
三井住友海上

研究開発

MS&AD
MS&ADインターリスク総研